

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

万寿台通りにシルク服の専門店

『朝鮮新報』によれば、2009年に新しいアパート群が完成したことで有名になった平壤の万寿台通りに2010年5月、シルク服の専門店である平壤ピダンショップが新たに開店した。このような国産シルク製品専門店は国内初のことだ。

ショップでは博川絹織工場と寧辺絹織工場で生産した「平壤」商標の絹織製品を扱っており、売り場には婚礼用の衣装、高齢者の誕生日向けの服、民族服の装身具とアクセサリー、布団と家庭用の各種カバーなど数百種の製品が展示されているとのことだ。また、生地の販売と仕立てサービスも行われているとのことだ。

このような商店の開店は、国内向けに軽工業製品の品質向上を訴える意義があるほか、外国からの訪問客に北朝鮮製の絹製品の品質の高さを知ってもらい、OEM（相手先ブランド製造）やODM（相手先企業のブランド製品の設計・製造）の受注につなげる狙いもあると思われる。

朝鮮労働党代表者会の開催

2010年9月28日、平壤で朝鮮労働党代表者会が開かれ、(1)金正日総書記を再推戴する問題、(2)党規約改定、(3)党中央指導機関の選出が討議、決定された。

日本では後継者と目される金正恩氏の人事が注目を集め、党規約改定や金正恩氏以外の人事にはあまり触れられていない報道が多いが、党規約の改正や党の人事は、北朝鮮社会の変化と今後の方向性を占ううえで極めて重要だ。

党規約の改正では、(ア)金日成主席を党と革命の永遠なる領袖に戴くこと、(イ)金正日総書記を中心とする組織的・思想的全一としての党の特性にふさわしい朝鮮労働党最高指導機関の構成、その地位と役割の新たな規定、(ウ)人民政権と青年同盟に対する党の指導を強化し、人民軍隊内の党組織の役割を高めることに関する内容の補充、(エ)党の当面の目的を「朝鮮半島北部で社会主義強盛大国を建設し、全国的範囲で民族解放民主主義革命の課題を遂行すること」とし、最終目的は「全社会をチュチェ思想化し人民大衆の自主性を完全に実現すること」としつつ、「社会主義の完全な勝利」を「社会主義強盛大国」へ変更、「共産主義」の表現は破棄などの変更、(オ)「先軍政治」を社会主義の基本的な政治方式と規定、などが行われた。

党の人事では、選出された多くの幹部が70～80歳代であ

る中で、60歳代の登用も行われており、注目される。後継者と目される金正恩氏は李英浩朝鮮人民軍総参謀長とともに党中央軍事委員会副委員長に選出された。李英浩氏(68)は党中央委員会政治局の常務委員にも選出されている。金正日総書記の妹である金敬姫氏(64)は党中央委員会政治局委員に、抗日パルチザンを親に持つ崔竜海氏(62)が張成沢氏(64)とともに政治局候補委員に選出された。前日の9月27日には金慶喜、金正恩、崔竜海の各氏らに大将の軍事称号が下され、李英浩氏は朝鮮人民軍の次帥（朝鮮人民軍独特の階級で大将の上、人民軍元帥の下の階級）に任命されている。

平壤機械大学とエクアドルの大学が協力合意

『朝鮮新報』によれば、朝鮮の平壤機械大学とエクアドルの「ルイス・バルカス・トーレス」エスメラルダス技術大学との間の親善・科学交流、協力に関する合意書が10月11日、人民文化宮殿で調印された。

平壤と咸興、開城で祝砲（花火）夜会開催

『朝鮮新報』によれば、10月10日の朝鮮労働党創建65周年の記念日を控えた2010年10月8日、平壤の党創建記念塔を臨む金日成花金正日花展示館側広場で花火大会が盛大に行われた。10日には、咸鏡南道咸興市と開城市でも花火大会が行われた。なお、北朝鮮では、花火大会は単なる遊びではなく、国民の精神力を鼓舞し、積極性を引き出すための行事として位置づけられている。

北朝鮮政府とブラジル政府との間の経済技術協力調印

『朝鮮新報』によれば、北朝鮮政府とブラジル政府との間の経済技術協力に関する協定が2010年10月28日、平壤で調印された。調印式には、朝鮮側から李竜男貿易相、関係者が、ブラジル側からアルナウド・カヒーリョ駐朝大使と大使館員が参加した。

1年ぶり離散家族・親戚の面会

2010年10月31日～11月1日および11月3日～5日に離散家族の面会が金剛山で行われた。前半の面会では北朝鮮からの離散家族97人が韓国に住んでいる親族435人と面会し、後半の面会では韓国からの離散家族96人が朝鮮にいる親族207人に面会した。面会は、北朝鮮政府が接収宣言を行った韓国政府建設の面会所で行われた。

(ERINA調査研究部研究主任 三村光弘)